

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 浦添市長選 伊礼氏「軍港より命」訴え健闘



「希望ある未来をつくる浦添市民ネット」など広範な市民団体や女性団体はじめ「オール沖縄」の共同代表、衆参国会議員、予定候補など多数の支援者に囲まれて記者会見の応じる伊礼ゆうき氏。伊礼氏は、支援者に感謝し「これで終わりじゃない。市民が軍港問題を議論できたことはすごく重要なことだ」と強調しました。

**教訓生かすうるま市長選と総選挙勝利へ**  
4月25日投票のうるま市長選も「オール沖縄」候補と自民党候補との一騎打ちでたたかわれます。浦添市長選の教訓を生かし、「オール沖縄」の照屋寛之候補を勝利させ、総選挙での沖縄県小選挙区の全4区での「オール沖縄」候補勝利、市民と野党の共闘による政権交代の実現で新基地建設を中止させましょう。

2月7日に投票された浦添市長選で「オール沖縄」は、市民団体とともに伊礼ゆうき候補を推薦し、「軍港より命を大切に市政を」と訴え、現職候補を猛追、健闘しましたが勝利することはできませんでした。伊礼ゆうき陣営は宣伝戦では相手候補を圧倒したものの、伊礼氏の出馬表明が12月23日と出遅れたことが組織戦に影響したと考えられます。  
しかし、「市民ネット」や「ママの会」など広範な市民団体、自然保護団体などと「オール沖縄」との共闘という新たな発展は、今後の運動の前進に貴重な財産と教訓を残すことができました。

市民と「オール沖縄」との共闘が発展

## 安和鉱山から赤土の海上輸送続く



上の写真は8日(月)午後5時頃の大浦湾。本部町の琉球セメント鉱山から違法な赤土を運ぶ運搬船が5隻と、赤土を陸揚げする台船が10隻も停泊していました。一隻の台船には違法な赤土を山のように積んでいました。  
右の写真は9日午前の塩川港です。本部島ぐるみの数人が監視活動をしていました。榊テイケイの警備員100人以上がマスクではなく隙間のあるフェイスシールド着用で警備に当たっています。島ぐるみでは「違法な赤土を運ぶな」と、過剰警備とコロナ対策にも抗議をしていました。



### 「赤旗」日曜版がスクープ連発

### 辺野古新基地耐震データ 国基準満たさず

しんぶん赤旗日曜版の辺野古新基地建設の耐震設計に必要な品質チェックのないデータを正式データのように偽装していた問題が大反響を呼んでいます。さらに耐震設計に必要な作業が国の基準を満たさず行われたことも暴露されました。

#### 【新基地の地震動設定作業】

	港湾基準	「辺野古」では
期間	1年-数年程度	約5カ月間
地震の数	3個以上が望ましい	2つ(このうち1つは品質チェックなし)

瀬長亀次郎と民衆資料

## 不屈館だより

〒900-0031 沖縄県那覇市若狭2丁目21-5 ☎098-943-8374 発行:不屈館

### ●不屈館 8周年企画展 (2月3日~4月30日)

#### 「瀬長フミと亀次郎」

激動の沖縄を共に歩んできた夫婦の物語

### ●8周年企画講演会(以下の2日間入館料300円)

#### 2月28日(日)

13:30 DVD「教えてよ 亀次郎」(24分)  
14:00 講演「沖縄戦から75年-女たちの立ち上がり」  
講師:山城紀子氏(フリージャーナリスト)

#### 3月1日(月)

13:30 DVD「カメジロー祖国の風景」(24分)  
14:00 講演「新聞記者・カメジロー」とその時代  
講師:藤原健氏(琉球新報客員編集委員)

## コロナ禍で連日 200台の生コン車など



ゲート前では連日10~20人で監視活動を続けています。(写真は10日午前9時頃)

沖縄県の緊急事態宣言が2月末まで延期されたもとの「オール沖縄」は抗議行動を自粛し少数での監視活動を続けています。キャンペーン・シユワブ内でもコロナ感染症が広がっているにもかかわらず防衛局は生コン車など作業車を連日200台も基地内に入れていきます。辺野古側の護岸のかさ上げ工事を急いでいるようです。  
しかし、大浦湾側の工事は手を付けられませんが、完成の見通しもないのでできる限り工事を進める無責任な工事を続けています。